

初心

2015年盛夏号

平成27年7月発行
年2回刊
題字/福田富一 書

〈発行所〉

福田富一
暮らしと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028 (633) 1111
http://www.tomikazu.com

「栃木って素晴らしい！」

栃木県知事 福田富一



7/26 [ニッポンドイリマチ] オープンイベントで藍染浴衣『Nippon Blue』を着て挨拶する知事＝日光市

選ばれ続ける栃木へ

☆ジヨブチューンスペシャル に出演して

9県知事によるお国自慢の番組だったが、栃木の特徴を視聴者に伝えられたと思う。放送後、次のような質問を多く受けた。

(1) ギャラはいくらか？

ノーギャラです。それより栃木のPRを全国にできたのだから知名度アップに貢献できたと思う。

(2) いつ収録したのか？

5月12日(火)夕方4時半から時々休憩を入れて約4時間。(ペットボトルの水を飲むだけ。因みに放映は5月30日(土)夜7時から2時間)

(3) 放映順はどうやって決めるのか？

1番目の放映だったが、順番はテレビ局が決めた。収録は3番目だった。

(4) とちまるくんが私の裏に居ない時があったが？

4時間スポットライトを浴び続けていられないので、ゆるキャラの皆さんは交替で休んでいた。

(5) テーマはどのように選ばれたのか？

(ア) 餃子ではなくカクテル、(イ) 夏場の雷の発生件数日本でトップクラス、

(ウ) かんびょうの生産ダンツの日本一(国内産の98%)、(エ) 栃木和牛の美味しさ全国トップクラスなど、他の8

県と比較して際立っている事項をテレビ局と相談して決めた。当然、十分県内を調査した上でのことだった。

以上が受けた質問の主なものだが、レギュラー出演のタ

レントの皆さんは各県の自慢の食材などを次々と食べていたが、私達は見ているだけ。それでも、TBSスタジオで楽しませてもらった。

☆住み良さランキング全国 第3位

春に発売された週刊誌に47都道府県の住み良さランキングが発表され、栃木県が上位3番目にランクされた。

評価の項目はたくさんあり総合点によるものであるが、正規雇用率や所得、社会資本の整備状況、娯楽施設の状態など、各分野の総合評価での順位付けである。バランスが取れているからこそ住み良いのだと感じた。

☆工場の立地動向調査では 分譲面積1位

昨年1年間の工場用地の分譲面積が1位、立地件数で3位と、過去最高を記録した。太陽光発電事業を除いても面積で2位、件数で7位。おかげで、工場等操業するならば災害が少ない等から選ばれる栃木になったと考えている。

☆オリンピック・パラリンピック キャンプ地誘致でも選ばれた

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催決定となり、国を挙げて準備を進めている。私は決定の翌日に独断でキャンプ地誘致の記者会見をし内外に表明した。このことは先手必勝を確信したからである。

先に、2022年の国体開催の内々定を受けていることもあり、各種競技場の整備は東京オリンピックに間に合う可能性も高いと判断できたこ

とも大きな力となった。

2018年は韓国ピョンチャンで冬季オリンピック、2019年はラグビーのワールドカップが日本で開催と、世界的な大会が続く。いずれも大会会場としては不可能だが、キャンプ地としてなら世界のアスリートを招くことができると思える。

各国大使館や全日本レベルの各団体、スポーツにおける様々な人脈を頼って活動をしている。

☆ハンガリーのキャンプ地決定

陸上関係者の縁で、8月22日から開会する北京国際陸上大会参加のハンガリーチームを8月12日から20日まで県陸上競技場でのキャンプ地誘致に成功した。ハンガリーはロンドンオリンピックでのメダル数で世界9位の国である(日本は11位)。皆でおもてなしをし、良い成績を残しオリンピックにつなげたい。

☆オーストラリア・ラグビー 協会のコーチ陣が本県視察

宇高のラグビー部のOBや県ラグビー協会役員のお骨折りで、ラグビーワールドカップのキャンプ地としての可否の判断のため、7月中旬に3日間をかけて、宇都宮、日光、那須塩原、佐野各市の競技場や宿泊施設などを視察された。日本国内では栃木県だけだとのこと。ワラビーズという世界一に2度輝いた強豪チームだ。これまた皆さんとともに決定を待ちたい。

選ばれ続ける栃木となるよう精一杯努めたい。皆様には今後とも宜しくお願いします。

県の魅力「とちぎの百様」

「君は何をしたいのか」

福田知事 獨協医大で講義



獨協医大の特任教授を務める福田富一知事は5月29日、同大で「君は何をしたいのか」と題し講義を行った(上記写真)。昨年6月に続き3回目。医療の道を志す学生に、知事として直接メッセージを送った。

福田知事は医学部1年生、看護学部4年生の計150人を前に、前半は生産量日本一のイチゴ、全国8位の県民所得、全国4位の1住宅当たり敷地面積

などの栃木の魅力を説明した。

また、人口減少問題には警戒感を示し、「子を持つて知る親の恩」『負うた子に教えられる浅瀬を渡る』など子育てしなれば分からない、自分の人生を豊かにするために結婚してほしいと訴えた。さらに、人生の心得として礼儀作法の重要性を強調。社会人として「群れば楽だが、群れない生き方をしてほしい」「記憶に残る人を目指して」と学生たちに要望した。

最後は「医療の現場は尊い職業。ここで学んで社会で感謝される医療人になってほしい」と結んだ。

大谷資料館地下採掘場跡で 観光キャンぺーン開始

本県の自然、文化などをPRするJR東日本大宮支社の「本物の出会い栃木」春の観光キャンペーンオープニングセレモニーが4月4日、宇都宮市の大谷資料館地下採掘場跡で行われた。

主催者の浅見郁樹大宮支社長が「昨年に続いて満を持して開催する。千客万来のとちぎ路で笑顔の花を咲かせたい」と挨拶。福田知事が「県内にはスイーツ、花など本物がたくさんあるのでぜひ出掛けてほしい」と述べ、テープカットをしてスタートを祝った。キャンペーンの第1弾としてこの日午前、JR新宿駅から特別団体列車「とちぎスイー



ツ・ビュッフェ号」を運行。一行(約150人)は同採掘場跡を見学した後、宇都宮市のろまんちっく村でイチゴ狩りを楽しんだ。テープカットをする福田知事(前列右から2人目)ら関係者。大谷資料館

本物の出会い 栃木でどうぞ

3月19日には、JR東日本の「本物の出会い栃木」春の観光キャンペーンと「とちぎ産直市」のスタートを告げるセレモニーがJR上野駅内で行われた。福田知事は「ことは日光東照宮の400年式年大祭もある」などと来県を促す一方、「皆さん買ってくださいね」と栃木なまりで県産品の購入を呼び掛けた。

春の観光キャンペーンは本県を重点地域に指定しているJR東日本が、昨年に続き4月6月に実施。旅行商品や県産食材を使った駅弁の販売、特別列車運行などを行った。産直市は県が共催し、県産イチゴの新品種スカイベリーやギョーザ、益子焼のほか和洋菓子、酒類を広い同駅グラウンドコンコースで3月21日まで販売した。

知事、創生事業を激励

那珂川町で元気フォーラム

福田知事が県内各市町に出向き県民と対話する「知事と語ろう!とち



ぎ元気フォーラム」が6月13日、那珂川町小川総合福祉センターで開かれた。町民ら約70人が参加し地方創生や産業振興などについて活発な意見が交わされた。

福田知事は「地方創生事業の中で那珂川町は、日本で最も美しい村や木の駅プロジェクト、温泉トラフグ、ホンモロコ、ボイラー熱を利用したマンゴー栽培・ウナギの養殖など、既に県内で先駆けた地域資源発掘に取り組んでいる。更に磨きをかけ高めてほしい」と激励した。

今年度のフォーラムはこの日が初めて。今後、各地で開かれるほか、高校生や大学生を対象にした企画も予定している。

原田上選手に県スポーツ功労賞

福田知事は4月24日、ロシアで5日まで開かれていた聴覚障害者の五輪「第18回冬季デフリンピック」で2個の金メダルを獲得した日光市在住の原田上(はらだのぼる)選手(39)に知事特別表彰の「県スポーツ功労賞」を授与した。原田選手の受賞は2007年のデフリンピックで2冠を達成して以来2回目。

原田選手はアルペンスノーボード大回転と回転の2種目で優勝。大回転では3大会連続、回転では2大会連続の金獲得だった。



表彰式後、福田知事に金メダルを見せる原田選手(右)

福田知事は「(大回転の予選当日に競技用のブーツがひび割れていたという)アクシデントを乗り越え金メダルを取ったのは私たちも誇りに思う」とたたえた。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていたいただきます。

健康づくり強化に意欲

国保移管で参院厚生労働委出席

全国知事会社会保障常任委員長の福田知事は5月22日の参院厚生労働委員会、国民健康保険(国保)の運営主体を都道府県に移管する法律案について参考人として意見を述べた。新たに県の役割となる国保加入者の健康づくりについて「都道府県全体の底上げをしたい」と強化する考えを表明した。

福田知事は健康づくりの意義について「理想は生涯現役社会。結果的に医療費適正化に結び付ける取り組みが、都道府県の責務だ」と述べ、さらにメリットについては「県は全市町を俯瞰でき、全国の情報を得や

す」と説明。レセプト(診療報酬明細書)の分析で地域ごとに多い疾患を把握し、効果的な予防対策を実施していく考えを示した。

10都県で観光PRへ

関東地方知事会

10都県が参加する関東地方知事会(会長・橋本昌茨城県知事)は5月25日の定例会議で、2020年の東京五輪・パラリンピック大会に向けて10都県が連携する観光PR体制を構築することを決めた。

福田知事は会議で「全国に先駆けて関東知事会で連携体制の構築をやつてはどうか」と発言。これに対して橋本会長は連絡会議の発足を各知事

に諮り、栃木県がまとめ役を担うことと了承された。

福田知事は終了後の取材に対し「外国人観光客はどんどん来始めている。本年度中には立ち上げたい」との考えを示した。



関東知事会での福田知事(中央)と大澤正明群馬県知事(左)と升添要一東京都知事(右)

企業の海外進出を支援

ジェトロ栃木が開所式

4月1日に宇都宮市ゆいの杜1丁目のとちぎ産業創造プラザにオープンした日本貿易振興機構栃木貿易情報センター(ジェトロ栃木)の開所式が4月21日、同所で行われ、福田知事や県内首长ら約50人が開設を祝った。

ジェトロの県内初の出先機関で、国内では42カ所目。松永宗徳所長ら5人が常駐し、海外の幅広いネットワークを強みに企業の海外進出や外国企業誘致などを支援する。



ジェトロ栃木の開所式で挨拶する福田知事

UITA「ふるさとで活躍を」

県と日大、就職促進協定

を訪れ、福田知事と協定書を交わした。県は年度内に首都圏の大学70校と協定締結を目指しており、日大が1校目。

自身も日大出身の福田知事は「毎年5000人以上の学生が東京周辺に進学しているが、多くは卒業後も帰らず、人口減少、若者の流出の大きな要因になっている。一方、県内企業は優秀な若い人材を採用する意欲が高い」と話し、「日大で大きく成長した若者が1人でも多くふるさと栃木で活躍することを心から願っている」と期待を寄せた。

今後は県と日大が連携し、学内にUITA情報センターを設置する「とちまろボード」を設置するほか、県内の企業情報や生活情報、就職関連イベントなどの情報を学生に周知する。



5月30日(土) ジョブチューン「現役の県知事9名が大集合!県知事スペシャル」での1コマ(詳細は4ページに記載)

東奔西走の日々

- ◇1月5日 知事が県庁で年頭訓示「知恵を出し工夫を」と幹部職員に一層の奮闘を促す。
- ◇1月8日 都道府県会館で全国知事会/社会保障常任委員長の福田知事は「持続可能な国民保健(国保)制度構築に向けた緊急要請」を行うことを提案。
- ◇1月26日 都内のホテルで「とちぎのいいものまるごと商談会」開催/福田知事がトップセールスに立ち、本県いいものをアピール。
- ◇2月12日 国と地方協議会/国保移管を了承した上で、それに伴う財政支援を要望。
- ◇2月27日 都内の百貨店でスカイベリーをPR/赤い法被姿で店頭に立った知事は「日本で一番甘い」などとおもしろさをアピール。
- ◇3月14日 JR上野東京ライン開業、宇都宮駅で出発式/「観光の振興や地域の活性化に期待したい」と知事。
- ◇3月19日 JR上野駅で「本物の出会い栃木」キャンペーン/知事、栃木なまりで県産品の購入を呼び掛ける。
- ◇4月1日 県幹部と新採職員に訓示/「栃木の良さ発信を」と訴える。
- ◇4月20日 都内で全国知事会/地方創生をテーマに意見交換。福田知事「自由度の高い交付金を国に要望」。
- ◇4月23日 全国知事会の社会保障常任委員長として衆院厚生労働委員会に出席/「国保移管に向け財政見通し提示を」と国に要望。
- ◇5月17日 日光東照宮「400年式年大祭」出席/「家康公は礼節を重んじる日本人の国民性の礎になった」。
- ◇5月18日 大阪市内で栃木県人会総会に出席/知事、県内の現状を紹介。
- ◇6月27日 県庁で「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラム」開催/県の少子化対策などについて意見交換。
- ◇6月29日 壬生町で宇都宮地区ブロック別市町村長会議/各地域の課題や取り組みについて意見交換。



協定書を交わし握手する福田知事(左)と日本大の大塚学長

学生のUITAと県外出身学生のUITA就職推進を目指す県は6月26日、日本大学(東京都千代田区)と「UITA就職促進協定」を結んだ。日大の大塚吉衛学長が県庁

「福田富」知事がおもしろい」

ジョブチューンに出演

福田知事は5月30日(土)、ジョブチューン(TBS)『現役県知事9名が大集合! 県知事スペシャル』に出演し、意外な一面を見せた。「福田富」知事がおもしろい」とは視聴者からの声である。

「県ブランド力ランキング45位の栃木県」に福田知事が猛反論! 次々と栃木県をPRした。中学生の剣道部入部率、日本一のバーテンダーの数、落雷の件数、蕎麦の売上高、工場の敷地面積、干瓢の収穫量、とちぎ和牛等々。県土面積は東京都の3倍あり、地図上でも目立つはずだが目立たない。知名度・ブランド力が足りないかと嘆く、そんな福田知事の誠実な人柄と一生懸命さが視聴者に受けたようである。



左から 村井嘉浩宮城県知事、湯崎英彦広島県知事、中村時広愛媛県知事、仁坂吉伸和歌山県知事、大村秀章愛知県知事、三日月大造滋賀県知事、浜田恵造香川県知事、福田富一栃木県知事、河野俊嗣宮崎県知事

吾妻小富士ハイキング

6月28日(日)、120名の参加者はバス4台に分乗し、福島県福島市の吾妻小富士に向かった。山頂には直径約500メートルの火口があり、火口底までの高低差は約70メートル。その火口壁をぐるりと一周する手軽なハイキングコースであったが、現地は雨に加

え激しい風が吹き荒れ、寒さの中、体ごと飛ばされないように一歩一歩踏み締めながらのハイキングとなった。そんな悪天候の中にあっても眼下には緑豊かな浄土平の湿原が鮮やかに広がり、私たちの目を楽しませてくれた。昼食後、予定を変更して猪苗代町の『世界のガラス館』を見学し、帰路に着いた。来年こそは晴天であってくれと願うばかりである。



1号車の皆さんと



2号車の皆さんと



3号車の皆さんと



寿号車の皆さんと

文化講演会のお知らせ

ダ・カーポ 榊原政敏・広子
トーク&コンサート

『いいことだけ考えよう』

日 時 9月3日(木)

午後6時30分開会

場 所 宇都宮グランドホテル

入場料 1,000円

※チケットご希望の方は事務所までご連絡下さい。



ゆりの会新年会

ゆりの会新年会は2月22日(日)、ホテル東日本宇都宮で会場に260名余の参加者を得て開催された。余興では福田幸子様が率いるカウル・ア・ナニ・ロケラニ幸子の皆さんによるフラダンスが披露され、会を華やかに盛り上げた。恒例となった抽選会や写真撮影が行われ、締めくくりは「とみかずサンバ」を合唱、和やかに親睦を深める楽しい集いとなった。



フラダンスを披露された福田幸子様(中央)と皆様

『福田家の茶の間』

梅雨明けとともに猛暑がやってきた。普段は元気な方も(黒バグ)だが、私たちが帰宅すると暑さでへたつてしまった。慌ててエアコンをつけ水分を与えたが、こんなことは初めてのことで、以後熱中症にかからないように万全の態勢をとっている。



ところで、私は健康には自信がある方だが唯一の弱点は腰である。40年来の腰痛持ちで、(友人から薬は良くないと忠告されていたのだが)最近痛くになると市販の鎮痛剤を飲んでた。特にここ2・3か月は、突然腰が痛くなるのが続き、(どうしてこんな)と思いつつも、忙しさにまかせて病院にも行かず、市販の薬を飲んで凌いでいた。

この日は背中からお腹まで広がりが1時間ほど身のおきどろがない痛みが続いた。このとき初めて、(これは腰痛ではないのかも)と気が付いた。週明けに内科を受診したところ、「こんなにこじらせて」、「自己判断で薬を飲まない」、「先生に叱られた。検尿と血液検査から腎盂炎と診断され、その日から3日間点滴を受け、15日間薬を服用して症状は治まった。『自分を過信しない』『自己判断せずに受診する』、取り返しのつかないことになる前に、気が付いて良かったと思っている。私の体調が戻ったところ、知人に誘われて草津白根山に出かけた(写真)」。このところお互いに忙しく、ゆっくり話すこともなかった。ので、久しぶりに2人の時間を、リフレッシュできて良かった。知人に感謝である。毎日暑い日が続いています。どうぞご自愛ください。

編集後記

後援会事務所に福田陽と綾香が入所しました(上記写真は有志による歓迎会)。石川祥子とともに皆様のお越しをお待ちしております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

相変わらず忙しい知事ですが、半年間の東奔西走の日々を纏めました。どうぞ一読下さい。

◇福田富一後援会総連合会事務所
◇福田富一暮らしと政治研究所

宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(633)1111
FAX 028(633)1110

